

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 29 年 2 月 23 日 (2017.2.23)

【公表番号】特表 2015-507725 (P2015-507725A)  
 【公表日】平成 27 年 3 月 12 日 (2015.3.12)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-016  
 【出願番号】特願 2014-548205 (P2014-548205)  
 【国際特許分類】

F 1 5 B 21/14 (2006.01)

E 0 2 F 9/20 (2006.01)

E 0 2 F 9/22 (2006.01)

【 F I 】

F 1 5 B 21/14 A

E 0 2 F 9/20 Z

E 0 2 F 9/22 R

【誤訳訂正書】  
 【提出日】平成 29 年 1 月 23 日 (2017.1.23)  
 【誤訳訂正 1】  
 【訂正対象書類名】明細書  
 【訂正対象項目名】0 0 0 4  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【 0 0 0 4 】

従って、本発明によれば、油圧流体と、油圧流体を加圧するための油圧機械と、油圧流体を油圧アクチュエータに供給するための油圧回路と、エネルギーを運動の形態で貯蔵するための運動エネルギー貯蔵装置とを含む油圧システムであって、油圧機械は、油圧アクチュエータから油圧流体を受け取るように構成され、運動エネルギー貯蔵装置は、油圧機械に動作可能に連結され、システムは、油圧機械が油圧アクチュエータから受け取った油圧流体によるエネルギーを運動エネルギー貯蔵装置に移動させるために動作可能であるように構成されるシステムが提供される。

【誤訳訂正 2】  
 【訂正対象書類名】明細書  
 【訂正対象項目名】0 0 0 5  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【 0 0 0 5 】

本発明の別の態様によれば、油圧流体と、油圧流体を加圧するための油圧機械と、油圧流体を油圧アクチュエータに供給するための油圧回路と、エネルギーを運動の形態で貯蔵するための運動エネルギー貯蔵装置とを含む油圧システムであって、油圧機械は、油圧アクチュエータから油圧流体を選択的に受け取るように構成され、運動エネルギー貯蔵装置は、油圧機械に選択的に動作可能に連結され、システムは、油圧機械が油圧アクチュエータから受け取った油圧流体によるエネルギーを運動エネルギー貯蔵装置に移動させるために選択的に動作可能であるように構成されるシステムが提供される。

【誤訳訂正 3】  
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲  
 【訂正対象項目名】全文

**【訂正方法】変更****【訂正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

油圧流体と、

油圧流体を加圧するための油圧機械と、

油圧流体を油圧アクチュエータに供給するための油圧回路と、

エネルギーを運動の形態で貯蔵するための運動エネルギー貯蔵装置と

を含む油圧システムであって、

前記油圧機械は前記油圧アクチュエータから油圧流体を受け取るように構成され、

前記運動エネルギー貯蔵装置はフライホイールであり、前記フライホイールは前記フライホイールが前記油圧機械より速く回転するようにギアボックスを介して前記油圧機械に動作可能に連結され、

前記システムは前記油圧機械が前記油圧アクチュエータから受け取った油圧流体によるエネルギーを前記フライホイールに移動させるために動作可能であるように構成される、油圧システム。

**【請求項 2】**

前記油圧機械は可変変位量油圧機械である、請求項 1 に記載の油圧システム。

**【請求項 3】**

前記システムは、前記油圧機械が前記フライホイールから油圧流体にエネルギーを移動させるために動作可能であるように構成される、請求項 1 又は 2 に記載の油圧システム。

**【請求項 4】**

前記油圧機械及び前記油圧回路は、前記フライホイールから前記油圧アクチュエータにエネルギーを移動させるように構成される、請求項 3 に記載の油圧システム。

**【請求項 5】**

前記油圧機械及び前記油圧回路は、前記フライホイールから更なる油圧アクチュエータにエネルギーを移動させるように構成される、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の油圧システム。

**【請求項 6】**

前記フライホイールは、前記油圧機械から前記フライホイールへのエネルギーの移動を防ぐように選択的に動作可能であるクラッチを介して、前記油圧機械に動作可能に連結される、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の油圧システム。

**【請求項 7】**

前記フライホイールは、前記フライホイールから前記油圧機械へのエネルギーの移動を防ぐように選択的に動作可能であるクラッチによって、前記油圧機械に動作可能に連結される、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の油圧システム。

**【請求項 8】**

前記油圧機械は、油圧流体を加圧するための第 1 油圧機械と、油圧流体を前記アクチュエータから受け取るように構成された第 2 油圧機械とによって定義され、前記フライホイールは、前記第 2 油圧機械に動作可能に連結され、前記システムは、前記第 2 油圧機械が前記油圧アクチュエータから受け取った油圧流体によるエネルギーを前記フライホイールに移動させるために動作可能であるように構成される、請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の油圧システム。

**【請求項 9】**

前記第 1 油圧機械は、原動機によって機械的に駆動されるように構成される、請求項 8 に記載の油圧システム。

**【請求項 10】**

請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載の油圧システムを含む車両であって、前記油圧アクチュエータはリフトアームを持ち上げるように動作可能である車両。

**【請求項 11】**

請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の油圧システムを含む車両を動作させる方法であって、

前記車両又は前記車両の一部の位置エネルギーを減少させるように前記アクチュエータを動作させることと、

前記位置エネルギーの少なくとも一部を運動エネルギーとして前記フライホイールに貯蔵することとを含む方法。

【請求項 1 2】

内燃エンジンを動作させる方法であって、

排気後処理システムを有する内燃エンジンを設けるステップと、

請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載の油圧システムを設けるステップと、

通常の運転温度より低い温度の排気後処理システムで始めるステップと、

前記内燃エンジンを起動するステップと、

前記フライホイールにエネルギーを貯蔵し且つ前記排気後処理システムの温度を上昇させるように前記エンジンに負荷を加えるために前記フライホイールを使用するステップとを含む方法。

【請求項 1 3】

請求項 1 1 に記載の車両を動作させる方法であって、

排気後処理システムを有する内燃エンジンを設けるステップと、

通常の運転温度より低い温度の排気後処理システムで始めるステップと、

前記内燃エンジンを起動するステップと、

前記フライホイールにエネルギーを貯蔵し且つ前記排気後処理システムの温度を上昇させるように前記エンジンに負荷を加えるために前記フライホイールを使用するステップとを含む方法。

【請求項 1 4】

請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の油圧システムを含む車両を動作させる方法であって、

a) 加圧油圧流体を供給するように油圧アクチュエータを配置するステップと、

b) 加圧油圧流体で前記油圧機械を駆動するステップと、

c) 前記油圧機械から前記フライホイールにエネルギーを移動させるステップと、

d) 運動エネルギーを前記フライホイールに一時的に貯蔵するステップと

を含む方法。

【請求項 1 5】

ステップ b) の間及び / 又はステップ c) の間及び / 又はステップ d) の間に、前記アクチュエータによって供給される加圧油圧流体の少なくとも一部を別個に減圧するように配置する、請求項 1 4 に記載の方法。

【請求項 1 6】

ステップ c) の間に、前記アクチュエータによって供給される加圧油圧流体の少なくとも一部を別個に減圧するように配置することは、加圧油圧流体の少なくとも一部の別個の減圧を調節することを含む、請求項 1 5 に記載の方法。

【請求項 1 7】

エネルギーを後に前記フライホイールから前記油圧機械に移動させることと、

前記油圧機械が油圧流体を加圧するように準備することと、

前記油圧アクチュエータが作業を行うことができるように前記油圧アクチュエータに加圧油圧流体を供給することと

を含む、請求項 1 4 から 1 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 1 8】

請求項 8 又は 9 に記載の油圧システムを含む車両を動作させる方法であって、

前記第 1 油圧機械を駆動するために加圧油圧流体を供給するように前記油圧アクチュエータを配置するステップと、

前記第 1 油圧機械から前記フライホイールにエネルギーを移動させるステップと、  
運動エネルギーを前記フライホイールに一時的に貯蔵するステップと  
を含む方法。

【請求項 19】

エネルギーを後に前記フライホイールから前記第 1 油圧機械に移動させることと、  
前記第 1 油圧機械が油圧流体を加圧するように準備することと、  
前記油圧アクチュエータが作業を行うことができるように前記第 1 油圧機械から前記油  
圧アクチュエータに加圧油圧流体を供給することと  
を含む、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】

油圧流体を加圧するように前記第 2 油圧機械を配置することと、  
前記油圧アクチュエータが作業を行うことができるように前記第 2 油圧機械から前記油  
圧アクチュエータに加圧油圧流体を供給することと  
を含む、請求項 18 又は 19 に記載の方法。

【請求項 21】

同時に前記第 1 油圧機械から前記油圧アクチュエータに加圧油圧流体を供給し且つ前記  
第 2 油圧機械から前記油圧アクチュエータに加圧油圧流体を供給することを含む、請求項  
19 に従属する場合の請求項 20 に記載の方法。